

11. 創造の伝説 (ミンダナオ)

時間の始まる最初の時、神様は宇宙の全ての惑星を創造し、彼は新しい惑星、地球に2つの彼の巨人を置きました。これらの2つの巨人は、女性のアランと男性アンガロでした。

神様の命令によって、アランとアンガロは、地球に形を与えることになりました。アランは慎重に彼女の素手で、丘や谷や山を形作りました。その間に、アンガロは彼の大きな手で、土地に溝と穴を掘っていました。そして、彼はこれらの穴や溝に小便をして、小川、川、湖、海、大海などを創造しました。その時、海と大海は塩っぽくなかったのです。

ついにふたりの巨人は、惑星全体の造園をしていました。そして、アンガロとアランは彼らの手にいくらかの粘土をすくい上げ、地球の最初の生き物を作りしました。アンガロは、彼の創造物を男と呼び、そして、アランは彼女の創造物を女と呼びました。

ふたりの巨人は、男と女を、中が空洞の竹に入れて、しっかりと封印し、大海に投げました。大海の流れは、その浮いた竹を北フィリピンの海岸、イロカノと呼ばれる海岸に運びました。これが最初にフィリピンに人間が出現した地方で、フィリピン人の祖先になりました。

その間に、ふたりの巨人は新しい惑星の最後の作業を続けていました。彼らは太陽、月、星、空などを作って、それらの全ての作品をお互いに調和のとれたものにしました。それには、大変長い時間がかかりましたが、アンガロとアランは、無限の辛抱強さと工夫で祝福されました。

神様はふたりの巨人の働きと、加えて彼自身の特別な、新しい惑星への多くの植物や動物の創造で喜んでいました。彼は、霊や小さな神や女神たちと一緒に、ほとんどの美しい花や聞き、そして無数の生き物を陸と大海に創造しました。彼はまたすべての木や植物が育ち、繁茂することができるように、雨と雪の成分を作りしました。

ある日の午後遅く、アンガロは山の上に立ち、美しい日没を見て、そして彼とアランと神様が創造した素晴らしいものに驚いていました。空は暗くなり始め、彼は美しい暗闇の女神シブンゲットを見ました。彼女は大海から彼を見、彼に来るように招きました。

アンガロは、地から海に降り、シブンゲットの方に歩いてゆきました。海底の溝と洞窟は、彼の重い足跡によってできたものでした。彼が暗闇の女神のところに着いた時、彼女は、彼に暗闇の世界でひとりいることから解放するように頼みました。しかし、それはシブンゲットの夜の世界を守るといふ永遠の義務だったので、その運命から彼女を自由にする方法はなかったのです。そのかわり、アンガロは、女神に、大海の真ん中にすばらしい宮殿を建てて、それは彼女の暗い世界を明るくする助けとなるように、雪のような白いものにする、と約束しました。

そこで、アンガロはすぐに女神シブンゲットとの約束を果たすために仕事にかかりました。彼はアシンという塩の王国の支配者に、大海に白い宮殿を作るために何千もの岩塩を送るように頼みました。

何千もの労働者が岩塩を大海の真ん中に運び、女神のために白い宮殿を造り始めました。彼らは幾日も幾晩も働き、すぐに白い建造物が深く青い海の中から抜け出して立派に建ち上がりました。

しかし、労働者が騒音を出すので、大海の神様は、四六時中、特に寝ようとする時邪魔をされました。ついに、大海の神様は、妨害に対して我慢できなくなり、怒って海のベッドから起き上がりました。しかし、彼の素早い行動は、広い海を膨らませて、海面に大きな潮の波を作り、素晴らしい白い塩の城に襲い掛かり、それを粉碎しました。それは簡単に破壊され、何百トンもの塩は大海中に散らばって行きました。それで海や大海の水が塩っぽいのです。

アランとアンガロは彼らの新しい惑星を愛して、しばしばその隅にまで歩いて行っていました。彼らの頭は空の雲に触っていました。

フィリピンの南にあるスールーと呼ばれるところを歩いている時、彼らは南海の真珠の美しい大きな魅惑的な玉を発見しました。そして、それらを大きな袋に入れました。

彼らの袋がこれらの美しい白い真珠でいっぱいになった時、アランとアンガロはイロカノの彼らの洞窟に歩いて帰りはじめました。しかし、その途中、かれらがビサヤ地方を通り過ぎている時、ふたりの巨人は、ばかばかしいことで議論になりました。ばかばかしい議論はすぐに真剣な戦いになり、それによって地震が起こり、彼らの大きくて重い足真下に地割れが起こりました。ついに、いらだっているアランは、大きな真珠の入った袋

フィリピンの神話と伝説

でアンガロを叩きました。彼女が、そんな力で叩いたので、袋は破裂して開き、高価な真珠は土地全体にこぼれ散ってしまいました。袋を破裂させた力と巨人が作った足跡の重さは、土地を粉々に解体して多くの小さな島になり、それが私たちが現在知っているビサヤ諸島になったのです。

アランとアンガロのつまらない戦いは長く続かず、すぐに彼らは口づけして、仲直りし、イロカノの洞窟の家に帰りました。

ついに、アランとアンゴラには、3人の美しい娘ができました。アンガロはアブラに彼の家庭のために新しい洞窟を作りました。そこで彼らは長年幸せに過ごしました。多くの人々が、カガヤン渓谷にあるもうひとつの洞窟へ向かう長いトンネルは、巨人の美しい娘たちが遊んでいたこれらの洞窟と関係があると信じています。

イロカノ・スールにあるシナイトでは、小さな入り口のある別の大きな美しい洞窟があります。この洞窟はアランによって作られ、そこへは、彼女と三人の娘が、アンガロと議論になったら、いつでも行くことにしていた洞窟です。今日でも、この洞窟は「バライ・ニ・アラン」あるいは「アランの家」として知られています。

時代が過ぎて、地球という惑星はすぐに、大変多くの人間や動物でいっぱいになり、神様はアランとアンガロは、ここにはもう必要ないと決められました。そこで、彼は二人の巨人と彼らの三人の美しい娘たちに、天国の彼の所に招かれました。彼らは今日でもまだ、そこで住んでいます。